

おすすめスポットシリーズ

# KARUIZAWAと全国をつなぐ 軽井沢便り 2015

## —石の教会—

三大建築の巨匠、フランク・ロイド・ライトの流れをくむ建築家ケンドリック・ケロッグが設計した教会。明治期のキリスト教者・内村鑑三の『無教会思想』から生まれた、世界でも希少な教会です。無料で見学できるのがGOOD！静かに時を過ごしたい時におすすめです。

※当社は一足お先に年度変わりとなり、11月から平成27年度となりましたので、軽井沢便りもリニューアル致しました！

 **土屋ホームトピア**

〒389-0011 長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15 **軽井沢便り編集局長**

TEL0267-44-3386 E-mail:t-sugawara@hometopia.co.jp **菅原寿治**



石とガラスの異なるアーチが重なり合う独特のフォルムをした外観です。

12月



KARUIZAWAと全国をつなぐ

# 軽井沢便り 2015 2月



浅間山荘事件顕彰碑（治安の礎）

事件翌年の1973年に建てられた顕彰碑「治安の礎」は、浅間山荘のある別荘地レイクニュータウンの入り口にあります。碑の後ろには、事件の教訓と殉職された二人の警察官の功績を称えた文章が刻印されています。

私の生まれる前に起きた悲惨な事件、そして私の生まれた年に建てられた碑の前に、手を合わせて頂きました。



日本一かどうかは個々の好みですが、確かに美味しい！あっさり派の方に特におすすめです。

## ～軽井沢今昔物語～

2月号ということで、43年前に軽井沢で起きた、わが国犯罪史上まれにみる凶悪な事件、『浅間山荘事件』について思いを馳せてみたいと思います。

### 浅間山荘事件

昭和47年2月に、連合赤軍が人質をとって浅間山荘に立てこもった事件。事件発生から219時間目に人質を無事救出し、犯人全員を逮捕したものの、警察官2名の殉職と多数の負傷者、一般人1名の死亡という結末で幕を閉じる。

### 思いを馳せめぐらせた後は…

顕彰碑のすぐ近くにあるお店『押立茶房(おしだてさぼう)』で腹ごしらえ。ここは、日本で一番美味しいソースカツ重が食べられるという噂の店です。限定30食までですが、裏情報によると31食目も大丈夫との事…。



 **土屋ホームトピア** 軽井沢リフォームスタジオ

マネージャー兼  
軽井沢便り編集局長

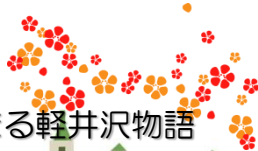
〒389-0011 長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15

TEL0267-44-3386 E-mail:t-sugawara@hometopia.co.jp **菅原寿治**

KARUIZAWAと全国をつなぐ

# 軽井沢便り 2015

# 3月



## 別荘の歴史特集第2弾

## 『北の一番別荘』から始まる軽井沢物語



ちなみこの写真は、北の2番別荘です。旧ウイン別荘といい、こちらは当時のまま残っています。



A・Cショーが軽井沢に第一号の別荘を建築してはじまった別荘の歴史。それから時が流れ、明治後期から大正時代、軽井沢には外国人別荘とともに郵便物が増えました。そこで郵便物を機能的に配る方法として、エリアを東西南北に分けて、ハウスナンバー（別荘番号）がつけられました。上記の写真は、『北の一番』と呼ばれる別荘で、明治34年築の、旧マデン別荘といえます。（写真は10年ほど前のもの）



早速、この歴史的な別荘を探索してみると…なんと既に建替えられていました。しかし！上記の写真が建替えられた後の写真ですが、面影を残した建物になっています。現在の所有者はなかなか粋な人ですね。



### 土屋ホームトピア

### 軽井沢リフォームスタジオ

マネージャー兼

軽井沢便り編集局長

〒389-0011 長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15

TEL0267-44-3386 E-mail:t-sugawara@hometopia.co.jp **菅原寿治**

KARUIZAWAと全国をつなぐ

# 軽井沢便り 2015

真相は？



日本で初めてシャーロックホームズの物語を完結した延原謙という人の仕事場が軽井沢の追分だった為、その縁で、ホームズ登場100周年を記念して建てられたそうです。(1988年10月9日建設)

ワンポイント豆知識

世界で最初のホームズ像がスイスに建てられたのが1988年9月10日との事で、実は1ヶ月遅れの世界で2番目の像だそうです。

おまけの豆知識

ちなみに3番目は、原作者のコナン・ドイルの生誕地であるエジンバラにあるそうです。イギリスより先に像が建てられました。実は凄い！



〒389-0011 長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15

軽井沢

リフォームスタジオ

TEL0267-44-3386 E-mail:t-sugawara@hometopia.co.jp

軽井沢の追分という地域のとある場所に、ひっそりとシャーロックホームズの像があります。なぜ軽井沢に縁もゆかりもなさそうなホームズが？今回はこの謎に迫ります。



『何故？軽井沢にホームズ像』の謎

軽井沢便り編集局長

菅原寿治



KARUIZAWAと全国をつなぐ

# 軽井沢便り 2015

GWに行くならココ!

妙義山麓を彩る様は圧巻です!



桜の季節は終わったかと思っ  
ているあなた…。  
まだまだ桜が舞い散ってます!

見  
忘  
れ  
な  
い  
よ!



妙義山さくらの里

【妙義山さくらの里】軽井沢から車で約40分。群馬県になりますが、妙義山を背に、約1万3000本の桜が植えられており、5月上旬まで桜が楽しめます。関東地域最後の花見所として、GWに是非おすすめです。境内には、中之嶽神社があり、金色の日本一大きい大黒像(高さ20m)があります。

【妙義山とは】 日本三大奇勝の一つ。  
日本百景にも選定されています。

【妙義山ワンポイント豆知識】

1974年の映画『男はつらいよ 寅次郎子守唄』オープニングの歌のシーンで妙義山をバックに車寅次郎が旅をしているそうです。



中之嶽神社



日本一の大黒様  
が待っています!

**土屋ホームトピア**

軽井沢リフォームスタジオ

長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15

TEL0267-44-3386

軽井沢便り編集局長 **菅原寿治**

KARUIZAWAと全国をつなぐ

# 軽井沢便り 2015 6月



## 6月と言えば…

そう、今から49年前にビートルズが日本にやってきた月です。

ということで、ジョン・レノンが軽井沢滞在中に家族で常連だった喫茶店『離山房（りさんぼう）』に行ってきました。離山房がオープンしたのは1977年。その年から3年、軽井沢で夏を過ごしていたジョンは、3日に1回は来ていたようです。ビートルズファンの間では有名なこのお店。実は、軽井沢の事務所から目と鼻の先にあり、歩いて1分かかりません。

店内にはビートルズの曲が流れ、ファンならずとも、感慨深いものを感じます！



ジョン・レノンが好きだったブルーベリージュースを飲みました。

## 離山房での有名な話

ジョン・レノンがお店にライターを置き忘れて帰国した翌年（1980年）、凶弾に倒れたため再び来店することはなく、そのライターは店内にかざられました。その後、ファンの間では『ジョンのライターで火をつけてタバコを吸うと歌がうまくなる』という噂が。後に、離山房を訪れたオノ・ヨーコの手に戻されました。

## 似ているのは偶然か？

離山房は、実はオノ・ヨーコの別荘とよく似ています。白い壁に三角の互い違いの屋根。もしかして離山房をひいきにしていた理由？



離山房全景



オノ・ヨーコ別荘

## 土屋ホームトピア

### 軽井沢リフォームスタジオ

長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15

TEL0267-44-3386

軽井沢便り編集局長 **菅原寿治**

KARUIZAWAと全国をつなぐ

# 軽井沢便り 2015



新コーナー

# 軽井沢の「道」シリーズ

【道(どう・タオ・みち)とは】 宇宙自然の普遍的法則や、道徳的な規範、美や真実の根元などを広く意味する言葉である。道家の祖である老子によれば、道とは名付けることのできないものであり、礼や義などを超越した真理とされる。天地一切を包含する宇宙自然、万物の終始に関わる道を天道といい、人間世界に関わる道を人道という。

な～んて難しい事を書きましたが、軽井沢には、外国人宣教師や別荘住民・地元住民が愛称として名付けた道・通りが38あります。堀辰雄の小説の舞台として登場する『水車の道』や、有名？な『鳩山通り』もそうです。

## シリーズ第1回は、 「お気持ちの道」をご紹介します。

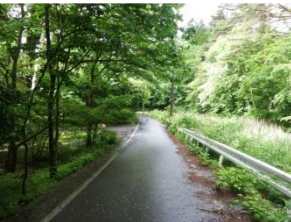
旧軽銀座をぬけて矢ヶ崎川沿いに進んでいくと、「お気持ちの道」があります。緑の季節も紅葉の季節も、散策にはぴったりの、自然を楽しめる小道です。近くには、室生犀星記念館やヴォーリス建築の建物などがあり、軽井沢を堪能できます。また、道の先には、天保14年に建立された、松尾芭蕉の句碑があります。



松尾芭蕉句碑

## 名前の由来は？

道沿いに流れている川は上流の滝、雨がふらないと地面に染み込み、せせらぎの音が全く聞こえなかったり、雨の後は勢いよく聞こえたりと気まぐれで、まさに『お天道様の気持ち次第』という事で名付けられたそうです。



**土屋ホームトピア**

軽井沢リフォームスタジオ

長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15

TEL0267-44-3386

軽井沢便り編集局長

**菅原寿治**

KARUIZAWAと全国をつなぐ

# 軽井沢便り 2015

## 戦後70年特別企画

### 旧スイス公使館(深山荘)見学日記



8月のとある日、旧スイス公使館(深山荘)の内部が一般公開され、見学に行ってきました。

歴史的にもものすごく重要な役割をもっている建物です。



軽井沢は太平洋戦争が始まる昭和19年、外国人の強制疎開地に指定されていたそうです。そして、日本の敗戦が濃厚になり、ポツダム宣言の受諾交渉がスイス公使とおこなわれたのが、実はなんと、中立国であったスイス公使館の疎開別荘として使用されていたこの深山荘。その後昭和20年8月10日ポツダム宣言受諾の交渉が成立したのですが、その電報が打電されたのもこの深山荘だったそうです。

### 終戦!

#### 衝撃の事実その①

8月10日ポツダム宣言受諾の電報が打電されたのが深山荘だったということは… つまり、日本国民が玉音放送にて敗戦を知らされたのが8月15日ですから、軽井沢ではそれ以前に終戦が告げられ、軽井沢の住民は5日も早く敗戦の確定を知ることになりました。

### 終戦!

#### 衝撃の事実その②

終戦の決断にあたり、軽井沢で交渉していたスイスが、仲介役として米英から国体護持ができることを聞き出し、昭和天皇が天皇制維持の確信をもって終戦決断の根拠の一つとした可能性が、最近になって浮上しているそうです。終戦に軽井沢町とスイス公使館が果たした役割が解明されるかも?非常に興味深い話です。



**【深山(みやま)荘とは?】**  
昭和初期に建造。太平洋戦争時、スイス公使館の別荘として使用され、平成27年に軽井沢町指定文化財に指定された建物です。

**土屋ホームトピア** 長野県北佐久郡軽井沢町長倉820-15

軽井沢リフォームスタジオ TEL0267-44-3386  
軽井沢便り編集局長

**菅原寿治**